

麻農高 農場便り

あ・ぐ・り

griculture~農業~

第6号

H.19. 3. 1発行

発行責任者
農場長 小林 好次

農場長より

卒業おめでとうございます！みなさんの成果が実り、本年度の農場予算（1082万円）を大きく上回ることができました（2月14日現在）。

第6号では農場生産状況の報告と、先に行われました校内農業クラブ研究発表大会の結果についても報告したいと思います。尚、農場の売り上げ金は全て県に納入済みです。



作物部門

生産関係

水稻については、まずまずの収量をあげることができ、また、単価も高くなり、当初予算を103万円上回る生産をあげることができました。玄米は372万円・白米40万円の金額となり、ほっと胸をなで下ろしている所です。心配していたカメムシの害も昨年ほどではありませんでした。

サツマイモについては、苗の活着が悪かったことで減収となり、予算を下回る2万4千円となりました。来年は植え付けに配慮していきたいと思います。ソバについてはまずまず良い出来でした。プロジェクト学習

1月末の校内研究発表大会で、2年生が『マルチの違いによるサツマイモの肥大・収量の違いについて』、3年生が『水稻の追肥の量の違いによる生育・収量の違いについて』というテーマで発表しました。2チームともまとめたデータをグラフ化するなど、工夫の跡が見られ良かったと思います。この結果を来年度のプロジェクトに生かして欲しいと思っています。



畜産部門

生産関係

さる2月9日、本宮市の県家畜市場において仔牛のセリが行われ、本校でも雌牛1頭を出荷しました。セリには自宅学習中の3年生の専攻生5名が見学に行きました。

本校の仔牛の番になると3年生が前に出て、「耶麻農業高校です。よろしくお願ひします!!」と元気良くあいさつすると値段がどんどん上昇し、当初予想していた額を大幅に上回る55万円の値段でセリ落とされました。大勢の前で声を張り上げるのは勇気がいりますが、彼等は見事にやり遂げ「やれば出来る事」を実証しました。この経験を実社会でも生かして欲しいです。プロジェクト学習

3年生『耶麻農牛のブランド化をめざして』『~会津マックスを使用した増体量の変化について~』、2年生『耶麻農牛のブランド化をめざして』『~本県産と九州産の増体量の違いについて~』のテーマで昨年4月より調査・研究を行い、さる1月26日の校内研究発表会で3年生が最優秀に選ばれました。



野菜部門

6月・7月の天候不順の影響で、夏野菜のナス・キュウリ・ピーマン・シシトウ・オクラ・トマト・スイカ・メロン・カボチャ等の生育に悪影響を与えました。

8月に天候は回復しましたが、昨年と比較して収量・販売額は大幅に減少してしまいました。

秋野菜についても、初めは順調に生育してきましたが、播種期の低温等の影響で発芽が大幅に遅れ、収量も減少し、販売額は減収となりました。

これからは、5月の野菜苗の販売に向けて、気持ちを込めて各種野菜のは種作業に取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。



草花部門

本校の草花部門は、花壇用の草花苗類（パンジー・マリーゴールド・サルビア・ペチュニア・ペゴニアセンパフローレンス）と鉢物類（カンナ・ペラルゴニウム・グロキシニア・キク・ミニシクラメン・シクラメン・プリムラ類・シネリア・カルセオリアなど）の栽培を中心に取り組んでいます。

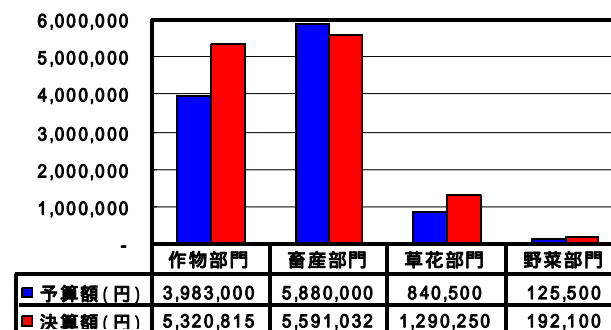
モットーは、「安全・安価で高品質の草花を地域に提供する」です。その判定は生徒が販売実習に出て消費者の皆様へ愛されることです。それは、販売実習を終えて黄色い手かごを振りながら帰って来る生徒の姿にあります。

卒業を祝うかのように、本校温室は写真のようにプリムラ類・シネリア・カルセオリア・ペゴニアセンパフローレンス・パンジーなどが咲き乱れております。本校の卒業式を皮切りに喜多方市内の小・中学校の卒業式も彩ることになります。



農場会計

平成18年度 農場会計 決算



今年度は、畜産部門で肥育牛が9月に1頭死亡し、大幅な収入減が危惧されましたが、他の3部門で予算額を150万程上回る事ができました。

特に、作物部門の水稻とソバが予算額より130万を超え、予算額10,829,000円に対し決算額が12,394,197円となりました。

年々生徒数が減少する中、予算額をクリアすることは大変ではありますが、教育環境と農場維持のために次年度も頑張っていきたいと思ひます。

農業クラブより

さる1月26日に校内研究発表大会が行われ、畜産専攻班3年生の『耶麻農牛のブランド化をめざして』『~会津マックスを使用した増体量の変化について~』が最優秀賞に輝きました。

優秀賞は以下の通りです。

作物専攻班2年生

『黒マルチと紙マルチを使った生育の違い』

野菜専攻班2年生

『海洋深層水・木酢液が生育・終了に及ぼす影響について』

農業科学基礎1年生

『初めての大豆栽培を通して』『~海洋深層水・ケイ酸散布による生育収量調査~』

発表の様子



